

地下水の利用状況調査票

事業所名	
事業所所在地	
業種	(日本標準産業分類の中分類でお答えください)

問 い 合 わ せ 先	所属部署	
	TEL	
	フガナ	
	氏名	

1 貴事業所を含む企業全体に関すること(年 月 日現在)

資本金(出資金)の額	円	
常時使用する従業員数 (うち山梨県内の従業員数)	人 (人)	
親会社の有無	有 無	
発行済株式総数(出資総額)の1/2以上 が同一の大規模法人に所有されている	有 無	
発行済株式総数(出資総額)の2/3以上 が複数の大規模法人に所有されている	有 無	

2 貴事業所における地下水採取量とその利用状況(単位未満は四捨五入)

事業所で汲み上げた量 (B欄からF欄の合計と一致します)	A		リットル
上 記 の 内 訳	製品等に含まれ移出した地下水	B	リットル
	事業所内での試飲・試食提供、販売	C	リットル
	製品等に含まれるが、移出していない地下水(在庫量)	D	リットル
	事業所内での消費(従業員飲用、研究開発、洗浄、冷暖房等)	E	リットル
	亡失、不明	F	リットル

※上記B,C欄がゼロの場合は、調査はここで終了となります。

3 製品等に含まれ移出した地下水(上記B,C欄)

B		リットル
C		リットル

B,C欄の品目ごとの内訳(原則、単位未満は四捨五入)

項目	品目1	品目2	品目3	品目4	品目5
品目名					
製品等の出荷量	()	()	()	()	()
上記に含まれる地下水量	リットル	リットル	リットル	リットル	リットル
製品等に含まれる地下水の割合	%	%	%	%	%
上記の計算方法					
最初の移出先	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %
最終消費地	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %	県内 % / 県外 %

地下水の利用状況調査票 記入要領

- この調査は、揚水設備が設置されている個々の事業所を対象としていますので、貴事業所で汲み上げた地下水のみが調査の対象となります。
- 地下水を含む製品等（それ以上加工されない最終製品、次工程に組み込まれる中間製品・部分品、原材料）について、別表に記載した品目ごとにまとめて記入してください。
- 調査項目3について、含まれる地下水の割合が違うなど、一つの品目欄で記入できない場合は、品目ごとではなく、製品等ごとに記入してください。（例：ジュースA、ジュースB、ジュースC）
- この調査の対象期間は、直近の終了した事業年度の1年分です。

1 貴事業所を含む企業全体に関すること(年 月 日現在)

資本金（出資金）の額	円
常時使用する従業員数 (うち山梨県内の従業員数)	人 (人)
親会社の有無	有 無
発行済株式総数(出資総額)の1/2以上が同一の大規模法人に所有されている	有 無
発行済株式総数(出資総額)の2/3以上が複数の大規模法人に所有されている	有 無

大規模法人とは、以下のいずれかに該当する法人。

- ・資本金（出資金）の額が1億円超の法人
- ・資本（出資）を有しない法人のうち、常時使用従業員数が1,000人超の法人
- ・大法人（資本金(出資金)の額が5億円以上の法人、相互会社・外国相互会社のうち常時使用従業員数が1,000人超の法人、受託法人）の100%子会社
- ・100%グループ内の複数の大法人に発行済株式(出資)の全部を保有されている普通法人

2 貴事業所における地下水採取量とその利用状況(単位未満は四捨五入)

事業所で汲み上げた量（B欄からF欄の合計と一致します）		A	リットル
上 記 の 内 訳	製品等に含まれ移出した地下水	B	リットル
	事業所内での試飲・試食提供、販売	C	リットル
	製品等に含まれるが、移出していない地下水（在庫量）	D	リットル
	事業所内での消費（従業員飲用、研究開発、洗浄、冷暖房等）	E	リットル
	亡失、不明	F	リットル

「移出」とは、事業所のある敷地から物理的に搬出されることを言います。

※上記B,C欄がゼロの場合は、調査はここで終了となります。

3 製品等に含まれ移出した地下水(上記B,C欄)

B	リットル
C	リットル

B,C欄の品目ごとの内訳(原則、単位未満は四捨五入)

項目	品目1
品目名	
製品等の出荷量	()
上記に含まれる地下水量	ℓ
製品等に含まれる地下水の割合	%
上記の計算方法	
最初の移出先	県内 % / 県外 %
最終消費地	県内 % / 県外 %

品目名は、別表の中で最も近いものを記入してください。原材料の場合は最終製品の品目を記入し、わからない場合は「不明」としてください。一つの品目欄で記入できない場合は、品目ごとではなく、製品等ごとに記入してください。

() 内には単位を記入してください。飲料であればℓ、食品であればkgなどになります。

各品目に含まれる地下水量を合計すると、上記のB欄及びC欄の合計と一致します。

小数点以下第3位を四捨五入してください。

(計算方法の例)

- ・製品100gあたり、地下水が70g、原材料Aが20g、添加物Bが10g含まれている場合
 $70g / 100g = 70\%$
- ・製品の製造に、地下水を100ℓ、原材料Aを20Kg、添加物Bを30kg使用する場合
地下水100ℓ = 100kgと換算し、 $100kg / (100kg + 20kg + 30kg) = 66.67\%$

事業所からの最初の移出先と最終消費地に係る県内と県外の割合について、事業所内で簡易に正確な把握ができる場合は記入してください。把握できない場合は空欄のままです。

別表

肉類	製茶
乳飲料	コーヒー
乳製品	その他の飲料
その他の畜産食料品	製氷
水産食料品	たばこ類
缶詰	飼料・肥料
調味料	繊維工業品
糖製品	木材・木製品
米・粉製品	家具・装備品
パン	パルプ・紙・紙加工品
菓子	印刷・印刷関連品
豆腐・油揚	化学工業製品
冷凍食品	石油製品・石炭製品
その他の食料品	プラスチック製品
炭酸飲料	ゴム製品
ジュース	なめし革・同製品・毛皮
コーヒー飲料	窯業・土石製品
茶系飲料	鉄鋼
ナチュラルウォーター	非鉄金属
ナチュラルミネラルウォーター	金属製品
ミネラルウォーター	はん用機械器具
飲用水（ボトルドウォーター）	生産用機械器具
フレーバーウォーター（ニアウォーター）	業務用機械器具
その他の清涼飲料	電子部品・デバイス・電子回路
果実酒	電気機械器具
ビール類	情報通信機械器具
清酒	輸送用機械器具
蒸留酒・混成酒	その他の製品（具体名も記入してください）